

内航海運における輸送動向調査結果について[2026.3]

内航海運の貨物船・油送船の主要元請オペレータ 58 社における輸送量（内航輸送量全体の 80%以上を占める）について、毎月末に調査を行っている。

2026 年 4 月末の調査結果は以下の通りとなった。

◆ 貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比 100%となった。

貨物船と油送船を合わせた内航輸送量は前年同月比 100%となった。前年同月よりも荒天の影響が増加した。

貨物船は鉄鋼、燃料（石炭、コークス）、紙・パルプ、雑貨、自動車は増加した。一方で、原料（石灰石・スラグ等）、セメントは減少で推移した。油送船は全ての品目が減少で推移した。

貨物船の概要

2026 年 3 月（実績値）における貨物船の輸送量は、17,567 千トンで前年同月比 100%（前々年同月比 101%）、前月比で 108%となっている。

輸送主要品目別に前年同月比（前々年同月比）を見ると、鉄鋼は 106%（前々年同月比 107%）であり、今月も引き続き、一部メーカーでは高炉火災の影響による他地域からの代替輸送が発生している。

原料（石灰石・スラグ等）は 94%（前々年同月比 95%）石灰石の減少により全体を押し下げた。スラグ、非金属鉱も減少で推移した。

燃料（石炭、コークス）は 108%（前々年同月比 91%）。石炭は増加が見られた。前年同月は石炭の積地側の設備故障により荷役が出来ない船社があったため、反動増となった。一方でコークスは今月も減少している。

紙・パルプは 112%（前々年同月比 103%）。紙、木材、パルプは増加で推移が見られたため、紙・パルプ全体で増加した。

雑貨は 102%（前々年同月比 103%）。引き続き、前年 12 月に発生した室蘭の製鉄所での火災の影響で、他の製鉄所からトレーラーによる代替輸送が発生したため、RORO で輸送した鋼材製品は増加が見られた。

自動車は 103%（前々年同月比 111%）。前月は一部メーカーの減産もあって減少が見られたが、今月は工場の稼働が回復したうえに、輸出車両の出荷増に伴う輸送により増加で推移した。

セメントは 91%（前々年同月比 89%）。出荷の低調さや荒天の影響を受けたため減少で推移した。

油送船の概要

2026 年 3 月（実績値）における油送船の輸送量は、7,861 千 kl・千トンで前年同月比 91%（前々年同月比 93%）、前月比で 98%となっている。

黒油は 88%（前々年同月比 85%）。引き続き、電力向けはや製油所間転送は低調に推移した。前月に北海道にある製油所のトラブルに伴い、京浜・中京から長距離輸送が発生していたが今月は解消した。

白油（ガソリン・灯油・軽油）は 92%（前々年同月比 95%）。今月も灯油の輸送は堅調に推移した一方で、ガソリン、軽油等の輸送量減少に加えて、荒天による輸送障害の影響が大きくなり低調に推移した。

ケミカルは 93%（前々年同月比 100%）であり、キシレン、トルエンの輸送が減少で推移した。品目により中東関係の影響で原料不足、減産によるオーダーキャンセルも一部で見られた。

高圧液化は 82%（前々年同月比 93%）であり、LPG、液体アンモニア、エチレン、塩ビモノマーと減少が見られた。

今月も LPG についてプロパンは減少したがブタンは増加で推移した。

高温液体は 95%（前々年同月比 93%）であり、今月もその他の高温液体や硫黄は増加となった一方で、アスファルトは減少で推移した結果、高温液体全体では減少となった。

耐腐食は 93%（前々年同月比 103%）であり、苛性ソーダは増加継続の一方で、硫酸、その他の腐食性液体は減少で推移した結果、耐腐食を押し下げた。

◆2025 年度の年間輸送量は前年度比で貨物船 100%、油送船は 97%となった。

貨物船全体では概ね前年並みの水準で推移したものの、品目別には明暗が分かれた。鉄鋼、燃料、紙・パルプ、自動車は前年を上回った一方、原料はほぼ前年並み、セメントは前年を下回った。年間累計では、鉄鋼は前年比 102%、原料は 99%、燃料は 102%、紙・パルプは 111%、雑貨は 100%、自動車は 101%、セメントは 95%となっている。

年度前半は、猛暑による石炭火力向け燃料輸送の増加、自動車は前年の自動車認証不正問題や台風影響からの反動増、紙・パルプにおける木材・バイオマス燃料輸送の増加が一部品目を押し上げた。一方で、鉄鋼製品の出荷低迷、セメント需要の弱さ、港湾ストや船舶入渠、定期修理などが下押し要因となった。特に 8 月は前年の台風 10 号の影響の反動増や 7 月 30 日に発生したカムチャッカ半島沖地震に伴う繰り越し貨物が見られた。

年度後半は、荒天、製鉄所火災、船員不足、サイバー攻撃による出荷停止、横浜本牧埠頭の滞船など、個別要因による変動が目立った。鉄鋼や雑貨では、製鉄所火災に伴う代替輸送が発生し、RORO 船による鋼材製品輸送が増加した。一方、セメントは出荷低調、専用船の入渠、定修、キルントラブル等により、年度を通じて弱含みとなった。

品目別に見ると、鉄鋼は、年間累計で前年比 102%となり、前年を上回った。

上半期は鉄鋼製品の出荷低迷により弱含む月が多かったが、8 月は前月からの繰越貨物や荒天影響の軽微さにより増加した。下半期は前年低水準からの反動に加え、一部メーカーの高炉火災に伴う他地域からの代替輸送が継続し、年度後半の輸送量を押し上げた。年間では、実需の強い回復というより、反動増や代替輸送の影響が大きかった。

原料（石灰石等）は、年間累計で前年比 99%となり、構成比の大きい石灰石の動きに左右された。上半期は石灰石、スラグ、金属鉱などの減少により弱含む月が多く、8 月に一時増加したものの、9 月以降は再び伸び悩んだ。2 月は石灰石増により持ち直したが、3 月は石灰石、スラグ、非金属鉱の減少で再び前年割れとなった。セメント需要の弱さや一部設備要因の影響を受け、通期ではほぼ横ばいから微減となった。

燃料（石炭・コークス）は、年度前半は石炭火力発電所向けの送り込みが低調な月もあったが、6 月以降は猛暑により石炭輸送が増加した。9 月まで石炭需要が堅調に推移し、年間を押し上げた。一方、下半期後半は船舶修理、発電所設備の故障・定修、コークス輸送の減少が下押し要因となった。3 月は石炭が増加した一方、コークスは減少が続いた。

紙・パルプは、年間を通じて比較的堅調に推移した。紙製品は月により増減があったが、木材、特に電力向けバイオマス燃料用の木材チップ輸送が全体を押し上げた。上半期は製紙工場のマシントラブルや品質不良に伴うイレギュラー輸送も増加要因が見られ、下半期は木材の輸送が支えとなった。3 月は紙、木材、パルプいずれも増加し、年間を通じて強い品目となった。

雑貨は、年間では概ね前年並みで推移した。上半期は備蓄米のスポット輸送、医薬品・飲料、農産品などが支えた一方、自動車部品や工業品の輸送減が下押しした。8 月以降は北海道航路で農産品輸送が始まったが、猛暑・少雨による玉葱の作柄不良なども見られた。下半期は横浜本牧埠頭の滞船、サイバー攻撃による出荷停止、RORO 船の船員不足などの影響を受けたが、年度後半は室蘭の製鉄所火災に伴う鋼材製品の代替輸送が見られた。

自動車は、上半期に前年の認証不正問題による生産減少からの反動増が見られた。7 月は部品欠品やカムチャッカ半島沖地震影響による工場停止で減少したが、8 月は 7 月からの繰り越し貨物や前年同月の台風影響からの反動もあり増加した。下半期も前年の生産停止の反動が一部で見られたが、2 月にはその影響が剥落した。3 月は工場稼働の回復と輸出車両の

出荷増により増加し、年間では小幅な増加となった。

セメントは、年間を通じて低調に推移した。上半期は出荷の伸び悩み、セメント専用船の減船・入渠が影響し、8月を除き弱含みが目立った。下半期も働き方改革の浸透による出荷低調、荒天、臨時入渠、定修、キルントラブルなどが重なった。3月も出荷低調と荒天の影響により前年割れとなり、主要貨物品目の中で弱さが目立つ一年だった。

2025年度の油送船輸送は、黒油、白油、高温液体が弱含みで推移し、全体としては貨物船に比べてやや低調だった。ケミカル、高圧液化、耐腐食は堅調な月もあったが、年度末にかけて弱含む品目が増えた。油送船全体では97%となり、黒油92%、白油97%、ケミカル105%、高圧液化102%、高温液体96%、耐腐食106%となった。

黒油は、年間を通じて低調だった。猛暑期でも原子力発電所の稼働率上昇や他エネルギーへのシフトにより、電力向け需要は伸び悩んだ。製油所間転送も低調で、長期停船、入渠、製油所定期修理なども下押し要因となった。3月も電力向け、製油所間転送とも低調で、2月に発生した北海道の製油所トラブルに伴う長距離輸送も解消したが、結果として前年割れとなった。

白油は、白油は、灯油やジェット燃料が支えとなる月もあったが、年間ではやや弱含んだ。船舶トラブル、入渠、荒天、製油所定期修理、航路延伸などが輸送量を抑えた。冬場に向けた灯油輸送は堅調だったものの、ガソリンや軽油の減少が響いた。3月も灯油は堅調だったが、ガソリン・軽油の減少と荒天による輸送障害により低調だった。

ケミカルは、上半期に水島地区や京浜地区のプラント定修、立ち上げ遅延などで低調な月があった一方、8月以降はトルエン、キシレンの輸送が堅調に推移する月も見られた。下半期前半は比較的堅調だったが、年度末にかけてキシレン、トルエンの輸送が減少した。3月は中東情勢の影響による原料不足や減産に伴うオーダーキャンセルも一部で見られた。

年間としては、上半期の定修・トラブルの影響を下半期のトルエン・キシレンなどの堅調輸送が一部補った形となった。高圧液化は、LPGの動きに左右された。上半期から下半期前半にかけてLPGが増加する月があり、全体を押し上げた。一方、エチレン、塩ビモノマー、液体アンモニアは月ごとの増減が大きかった。年度末は弱含み、3月はLPG、液体アンモニア、エチレン、塩ビモノマーがいずれも減少した。LPGではプロパンが減少した一方、ブタンは増加した。

高温液体は、構成比の大きいアスファルトの動向に左右された。硫黄やその他高温液体が増加する月もあったが、アスファルトの減少を補い切れない局面が多かった。下半期も一部で増加月はあったものの、年度末にかけて弱含んだ。3月も硫黄、その他高温液体は増加したが、アスファルトが減少し、全体では前年を下回った。

耐腐食は、年度中盤から後半にかけて比較的堅調な月が多かった。苛性ソーダやその他腐食性液体が増加する月があり、油送船品目の中では安定感が見られた。ただし、年度末は弱含み、3月は苛性ソーダの増加は続いたものの、硫酸とその他腐食性液体が減少し、耐腐食全体を押し下げた。

【貨物船】内航輸送主要元請オペ(2026年3月分)輸送実績推移表

単位:千トン

分類	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~3月累計
	回答社数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
鉄鋼	当年	2,997	3,003	2,953	3,012	3,014	3,028	2,886	3,228	3,105	3,052	3,239	3,435	36,951
	前年	3,041	3,053	3,039	3,166	2,612	3,143	3,159	2,978	3,165	2,938	2,746	3,244	36,284
	前々年	2,628	2,821	2,904	2,981	2,530	3,121	3,157	2,930	3,087	2,866	3,009	3,200	35,236
	前年対比	0.99	0.98	0.97	0.95	1.15	0.96	0.91	1.08	0.98	1.04	1.18	1.06	1.02
	前々年対比	1.14	1.06	1.02	1.01	1.19	0.97	0.91	1.10	1.01	1.06	1.08	1.07	1.05
16社	(前月比)	-	(1.00)	(0.98)	(1.02)	(1.00)	(1.00)	(0.95)	(1.12)	(0.96)	(0.98)	(1.06)	(1.06)	-
原料 (石灰石、スラグ等)	当年	3,686	3,636	3,652	3,768	3,817	3,790	3,846	3,720	3,964	3,445	3,448	3,661	44,433
	前年	3,876	3,589	3,770	4,140	3,542	3,846	3,876	3,773	4,063	3,487	3,176	3,878	45,015
	前々年	3,696	3,798	3,946	4,153	3,554	4,132	4,145	3,910	4,048	3,571	3,743	3,852	46,549
	前年対比	0.95	1.01	0.97	0.91	1.08	0.99	0.99	0.99	0.98	0.99	1.09	0.94	0.99
	前々年対比	1.00	0.96	0.93	0.91	1.07	0.92	0.93	0.95	0.98	0.96	0.92	0.95	0.95
21社	(前月比)	-	(0.99)	(1.00)	(1.03)	(1.01)	(0.99)	(1.01)	(0.97)	(1.07)	(0.87)	(1.00)	(1.06)	-
燃料 (石炭、コークス)	当年	1,058	1,111	1,478	1,783	1,924	1,953	1,705	1,618	1,759	1,635	1,532	1,426	18,983
	前年	1,314	1,145	1,443	1,739	1,764	1,694	1,524	1,580	1,851	1,715	1,587	1,324	18,680
	前々年	1,171	1,169	1,093	1,570	1,361	1,522	1,363	1,608	1,916	1,556	1,636	1,559	17,523
	前年対比	0.81	0.97	1.02	1.03	1.09	1.15	1.12	1.02	0.95	0.95	0.97	1.08	1.02
	前々年対比	0.90	0.95	1.35	1.14	1.41	1.28	1.25	1.01	0.92	1.05	0.94	0.91	1.08
16社	(前月比)	-	(1.05)	(1.33)	(1.21)	(1.08)	(1.02)	(0.87)	(0.95)	(1.09)	(0.93)	(0.94)	(0.93)	-
紙・パルプ	当年	146	131	169	132	155	171	152	142	146	125	141	154	1,764
	前年	137	114	132	145	120	144	145	126	132	120	133	137	1,585
	前々年	118	112	134	120	138	143	140	137	154	138	128	150	1,610
	前年対比	1.06	1.15	1.27	0.91	1.30	1.19	1.05	1.13	1.11	1.04	1.06	1.12	1.11
	前々年対比	1.24	1.17	1.26	1.10	1.13	1.20	1.09	1.04	0.95	0.91	1.10	1.03	1.10
12社	(前月比)	-	(0.90)	(1.29)	(0.78)	(1.18)	(1.10)	(0.89)	(0.94)	(1.02)	(0.86)	(1.13)	(1.09)	-
雑貨 (一般雑貨、コンテナ等)	当年	2,256	2,167	2,134	2,331	2,141	2,338	2,395	2,256	2,276	2,147	2,139	2,332	26,911
	前年	2,282	2,073	2,211	2,385	2,090	2,411	2,503	2,327	2,219	1,934	2,047	2,295	26,781
	前々年	2,289	2,006	2,248	2,282	2,055	2,375	2,305	2,258	2,204	1,877	2,057	2,253	26,209
	前年対比	0.99	1.05	0.97	0.98	1.02	0.97	0.96	0.97	1.03	1.11	1.04	1.02	1.00
	前々年対比	0.99	1.08	0.95	1.02	1.04	0.98	1.04	1.00	1.03	1.14	1.04	1.03	1.03
21社	(前月比)	-	(0.96)	(0.98)	(1.09)	(0.92)	(1.09)	(1.02)	(0.94)	(1.01)	(0.94)	(1.00)	(1.09)	-
自動車	当年	3,617	3,472	4,008	3,790	3,171	4,147	4,109	4,098	3,654	3,534	3,948	4,638	46,186
	前年	3,416	3,197	3,929	4,221	3,005	4,232	4,273	3,929	3,571	3,479	3,966	4,525	45,743
	前々年	4,333	3,389	4,010	4,298	3,321	4,619	4,478	4,350	4,000	2,848	3,167	4,197	47,009
	前年対比	1.06	1.09	1.02	0.90	1.06	0.98	0.96	1.04	1.02	1.02	1.00	1.03	1.01
	前々年対比	0.83	1.02	1.00	0.88	0.95	0.90	0.92	0.94	0.91	1.24	1.25	1.11	0.98
12社	(前月比)	-	(0.96)	(1.15)	(0.95)	(0.84)	(1.31)	(0.99)	(1.00)	(0.89)	(0.97)	(1.12)	(1.17)	-
セメント	当年	2,035	1,869	1,999	2,036	1,911	2,024	2,123	2,163	2,192	1,814	1,758	1,922	23,847
	前年	2,066	2,084	2,141	2,055	1,782	2,129	2,312	2,166	2,299	1,911	1,941	2,123	25,009
	前々年	2,074	2,182	2,279	2,421	2,006	2,293	2,459	2,249	2,420	1,917	2,131	2,166	26,595
	前年対比	0.98	0.90	0.93	0.99	1.07	0.95	0.92	1.00	0.95	0.95	0.91	0.91	0.95
	前々年対比	0.98	0.86	0.88	0.84	0.95	0.88	0.86	0.96	0.91	0.95	0.82	0.89	0.90
13社	(前月比)	-	(0.92)	(1.07)	(1.02)	(0.94)	(1.06)	(1.05)	(1.02)	(1.01)	(0.83)	(0.97)	(1.09)	-
貨物船 合計	当年	15,795	15,390	16,394	16,853	16,131	17,450	17,217	17,225	17,095	15,752	16,206	17,567	199,076
	前年	16,133	15,256	16,665	17,850	14,914	17,600	17,792	16,880	17,300	15,584	15,596	17,528	199,096
	前々年	16,308	15,478	16,615	17,824	14,966	18,205	18,047	17,443	17,828	14,772	15,871	17,376	200,732
	前年対比	0.98	1.01	0.98	0.94	1.08	0.99	0.97	1.02	0.99	1.01	1.04	1.00	1.00
	前々年対比	0.97	0.99	0.99	0.95	1.08	0.96	0.95	0.99	0.96	1.07	1.02	1.01	0.99
40社	(前月比)	-	(0.97)	(1.07)	(1.03)	(0.96)	(1.08)	(0.99)	(1.00)	(0.99)	(0.92)	(1.03)	(1.08)	-

※過去に発表済みの輸送量について、発表後に修正した品目がある。

【油送船】内航輸送主要元請才ペ(2026年3月分)輸送実績推移表

単位:千KL・千トン

分類	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~3月累計
	回答社数	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
黒油	当年	1,809	1,682	1,758	1,642	1,630	1,630	1,726	1,745	1,807	1,738	1,655	1,643	20,466
	前年	1,896	1,811	1,760	1,878	1,629	1,842	1,897	1,873	2,032	1,897	1,862	1,865	22,243
	前々年	1,956	1,957	1,967	2,166	1,968	1,935	2,020	1,862	2,258	2,021	1,927	1,941	23,978
	前年対比	0.95	0.93	1.00	0.87	1.00	0.88	0.91	0.93	0.89	0.92	0.89	0.88	0.92
	前々年対比	0.92	0.86	0.89	0.76	0.83	0.84	0.85	0.94	0.80	0.86	0.86	0.85	0.85
16社	(前月比)	—	(0.93)	(1.05)	(0.93)	(0.99)	(1.00)	(1.06)	(1.01)	(1.04)	(0.96)	(0.95)	(0.99)	—
	当年	4,654	4,643	4,834	4,534	4,768	4,455	4,596	4,827	5,086	4,828	4,662	4,634	56,521
	前年	5,062	4,906	4,847	4,805	4,666	4,716	4,998	4,771	5,127	4,960	4,620	5,015	58,492
	前々年	4,815	4,836	4,819	4,999	4,872	4,932	5,090	4,775	5,344	5,087	4,882	4,881	59,332
	前年対比	0.92	0.95	1.00	0.94	1.02	0.94	0.92	1.01	0.99	0.97	1.01	0.92	0.97
10社	前々年対比	0.97	0.96	1.00	0.91	0.98	0.90	0.90	1.01	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95
	(前月比)	—	(1.00)	(1.04)	(0.94)	(1.05)	(0.93)	(1.03)	(1.05)	(1.05)	(0.95)	(0.97)	(0.99)	—
	当年	714	552	582	572	678	663	694	679	654	681	632	600	7,700
	前年	572	564	579	662	551	597	639	607	639	616	656	649	7,330
	前々年	689	674	628	692	623	648	652	643	624	644	593	598	7,708
14社	前年対比	1.25	0.98	1.00	0.86	1.23	1.11	1.09	1.12	1.02	1.11	0.96	0.93	1.05
	前々年対比	1.04	0.82	0.93	0.83	1.09	1.02	1.06	1.06	1.05	1.06	1.07	1.00	1.00
	(前月比)	—	(0.77)	(1.06)	(0.98)	(1.19)	(0.98)	(1.05)	(0.98)	(0.96)	(1.04)	(0.93)	(0.95)	—
	当年	561	469	431	452	484	482	490	538	595	592	564	504	6,162
	前年	494	443	414	521	465	446	498	488	544	549	571	617	6,049
14社	前々年	529	452	387	447	456	441	487	511	593	587	557	539	5,986
	前年対比	1.14	1.06	1.04	0.87	1.04	1.08	0.98	1.10	1.09	1.08	0.99	0.82	1.02
	前々年対比	1.06	1.04	1.12	1.01	1.06	1.09	1.01	1.05	1.00	1.01	1.01	0.93	1.03
	(前月比)	—	(0.84)	(0.92)	(1.05)	(1.07)	(1.00)	(1.02)	(1.10)	(1.11)	(1.00)	(0.95)	(0.89)	—
	当年	79	96	82	78	69	60	65	89	83	73	59	78	911
7社	前年	85	81	91	94	72	72	75	85	79	73	65	82	953
	前々年	81	60	78	101	74	86	82	74	71	70	84	84	943
	前年対比	0.93	1.20	0.90	0.83	0.96	0.84	0.86	1.05	1.05	1.00	0.91	0.95	0.96
	前々年対比	0.98	1.61	1.05	0.78	0.93	0.70	0.79	1.20	1.17	1.05	0.70	0.93	0.97
	(前月比)	—	(1.22)	(0.85)	(0.95)	(0.89)	(0.87)	(1.08)	(1.37)	(0.93)	(0.88)	(0.80)	(1.33)	—
当年	400	337	337	389	403	406	428	428	409	420	420	403	4,779	
11社	前年	408	365	363	385	353	387	359	358	376	365	361	432	4,512
	前々年	403	373	355	419	371	374	387	392	401	369	370	391	4,606
	前年対比	0.98	0.92	0.93	1.01	1.14	1.05	1.19	1.19	1.09	1.15	1.16	0.93	1.06
	前々年対比	0.99	0.90	0.95	0.93	1.09	1.09	1.10	1.09	1.02	1.14	1.13	1.03	1.04
	(前月比)	—	(0.84)	(1.00)	(1.15)	(1.04)	(1.01)	(1.05)	(1.00)	(0.96)	(1.03)	(1.00)	(0.96)	—
油送船 合計	当年	8,218	7,779	8,025	7,667	8,032	7,696	7,998	8,305	8,634	8,332	7,992	7,861	96,539
	前年	8,518	8,170	8,055	8,345	7,735	8,059	8,466	8,182	8,796	8,460	8,134	8,659	99,581
	前々年	8,473	8,352	8,234	8,822	8,364	8,416	8,719	8,257	9,290	8,778	8,415	8,435	102,554
	前年対比	0.96	0.95	1.00	0.92	1.04	0.95	0.94	1.01	0.98	0.98	0.98	0.91	0.97
	前々年対比	0.97	0.93	0.97	0.87	0.96	0.91	0.92	1.01	0.93	0.95	0.95	0.93	0.94
27社	(前月比)	—	(0.95)	(1.03)	(0.96)	(1.05)	(0.96)	(1.04)	(1.04)	(1.04)	(0.97)	(0.96)	(0.98)	—

※過去に発表済みの輸送量について、発表後に修正した品目がある。

2025年度 内航輸送主要元請オペ 輸送実績推移表<前年同期対比>

単位:千トン

分類		上半期 4月～9月	下半期 10月～3月	合計
鉄鋼	2025年度	18,008	18,944	36,951
	2024年度	18,054	18,230	36,284
	2023年度	16,986	18,250	35,236
	前年対比	1.00	1.04	1.02
	前々年対比	1.06	1.04	1.05
原料 (石灰石等)	2025年度	22,349	22,085	44,433
	2024年度	22,762	22,253	45,015
	2023年度	23,280	23,269	46,549
	前年対比	0.98	0.99	0.99
	前々年対比	0.96	0.95	0.95
燃料 (石炭 ・コークス)	2025年度	9,307	9,676	18,983
	2024年度	9,098	9,582	18,680
	2023年度	7,886	9,638	17,523
	前年対比	1.02	1.01	1.02
	前々年対比	1.18	1.00	1.08
紙・パルプ	2025年度	904	860	1,764
	2024年度	792	792	1,585
	2023年度	765	846	1,610
	前年対比	1.14	1.08	1.11
	前々年対比	1.18	1.02	1.10
雑貨	2025年度	13,367	13,544	26,911
	2024年度	13,454	13,327	26,781
	2023年度	13,255	12,953	26,209
	前年対比	0.99	1.02	1.00
	前々年対比	1.01	1.05	1.03
自動車	2025年度	22,204	23,982	46,186
	2024年度	22,000	23,743	45,743
	2023年度	23,969	23,040	47,009
	前年対比	1.01	1.01	1.01
	前々年対比	0.93	1.04	0.98
セメント	2025年度	11,875	11,972	23,847
	2024年度	12,257	12,752	25,009
	2023年度	13,255	13,340	26,595
	前年対比	0.97	0.94	0.95
	前々年対比	0.90	0.90	0.90
貨物船計	2025年度	98,014	101,062	199,076
	2024年度	98,418	100,679	199,096
	2023年度	99,396	101,336	200,732
	前年対比	1.00	1.00	1.00
	前々年対比	0.99	1.00	0.99

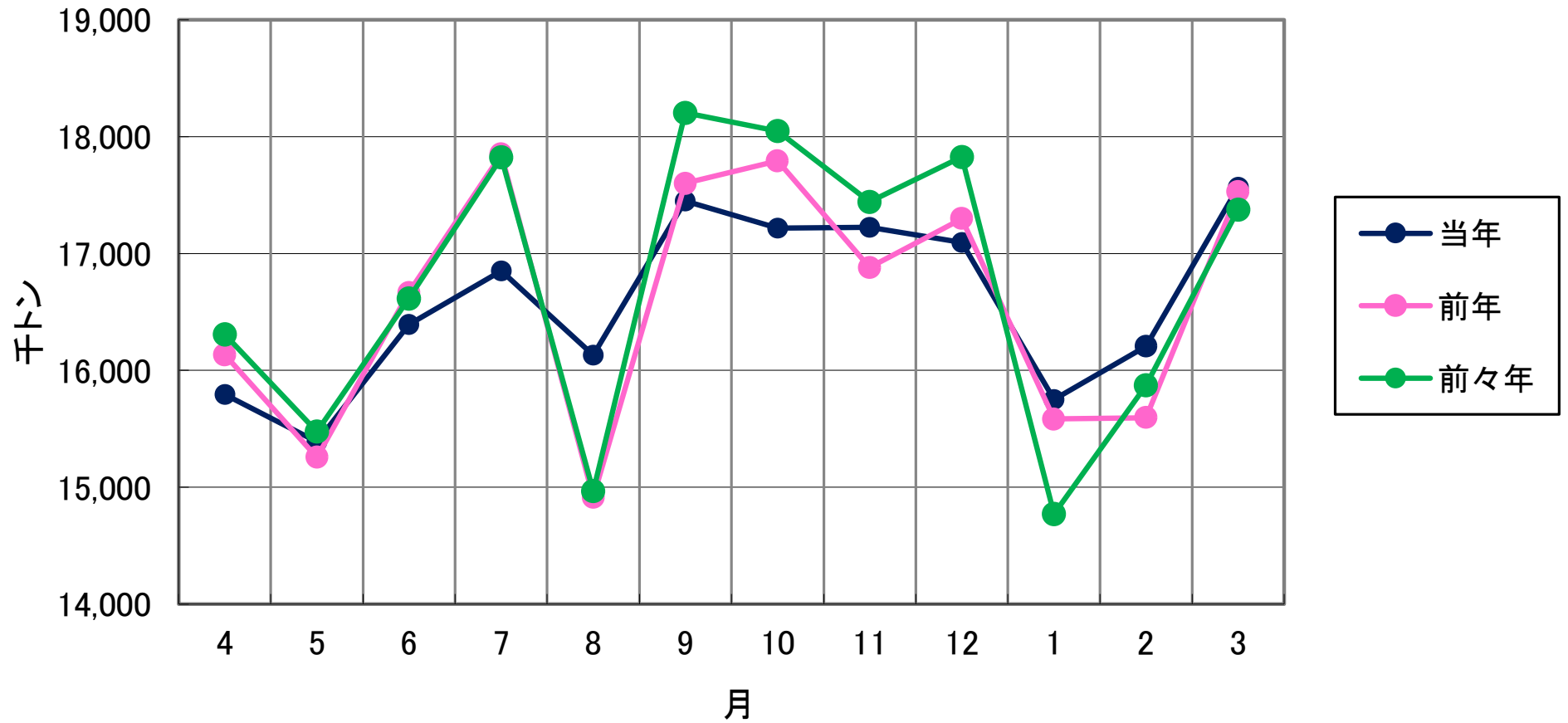
単位:千KL・千トン

分類		上半期 4月～9月	下半期 10月～3月	合計
黒油	2025年度	10,152	10,314	20,466
	2024年度	10,817	11,426	22,243
	2023年度	11,948	12,030	23,978
	前年対比	0.94	0.90	0.92
	前々年対比	0.85	0.86	0.85
白油	2025年度	27,889	28,632	56,521
	2024年度	29,002	29,491	58,492
	2023年度	29,272	30,059	59,332
	前年対比	0.96	0.97	0.97
	前々年対比	0.95	0.95	0.95
ケミカル	2025年度	3,760	3,940	7,700
	2024年度	3,525	3,805	7,330
	2023年度	3,953	3,755	7,708
	前年対比	1.07	1.04	1.05
	前々年対比	0.95	1.05	1.00
高圧液化	2025年度	2,880	3,282	6,162
	2024年度	2,782	3,267	6,049
	2023年度	2,712	3,274	5,986
	前年対比	1.04	1.00	1.02
	前々年対比	1.06	1.00	1.03
高温液体	2025年度	465	446	911
	2024年度	494	459	953
	2023年度	479	464	943
	前年対比	0.94	0.97	0.96
	前々年対比	0.97	0.96	0.97
耐腐食	2025年度	2,272	2,507	4,779
	2024年度	2,262	2,250	4,512
	2023年度	2,295	2,311	4,606
	前年対比	1.00	1.11	1.06
	前々年対比	0.99	1.08	1.04
油送船計	2025年度	47,418	49,121	96,539
	2024年度	48,882	50,699	99,581
	2023年度	50,661	51,893	102,554
	前年対比	0.97	0.97	0.97
	前々年対比	0.94	0.95	0.94

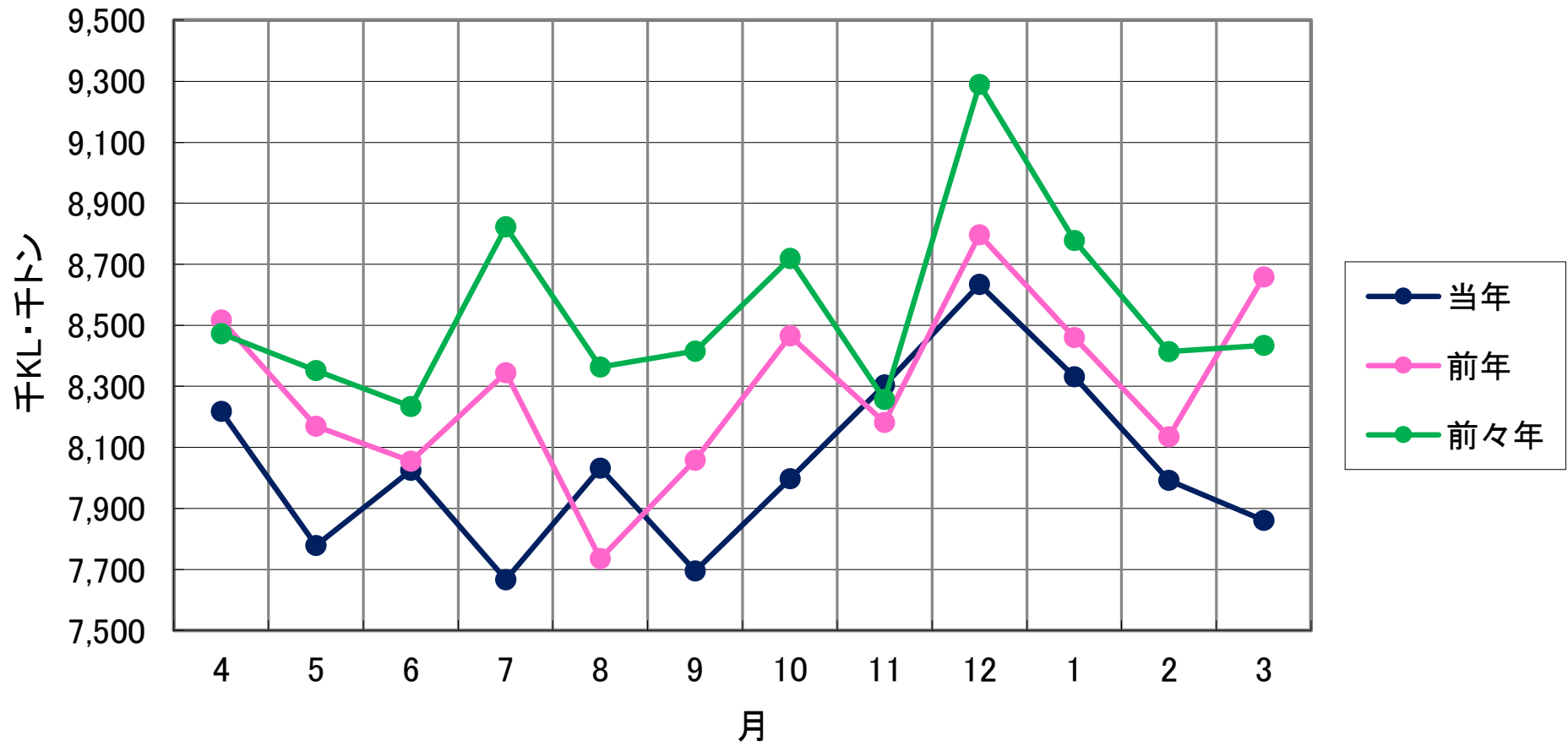
※過去に発表済みの輸送量について、発表後に修正した品目がある。

※四捨五入処理の関係で合計の数字が合わない場合がある。

内航輸送主要元請オペ【貨物船】 輸送実績の推移



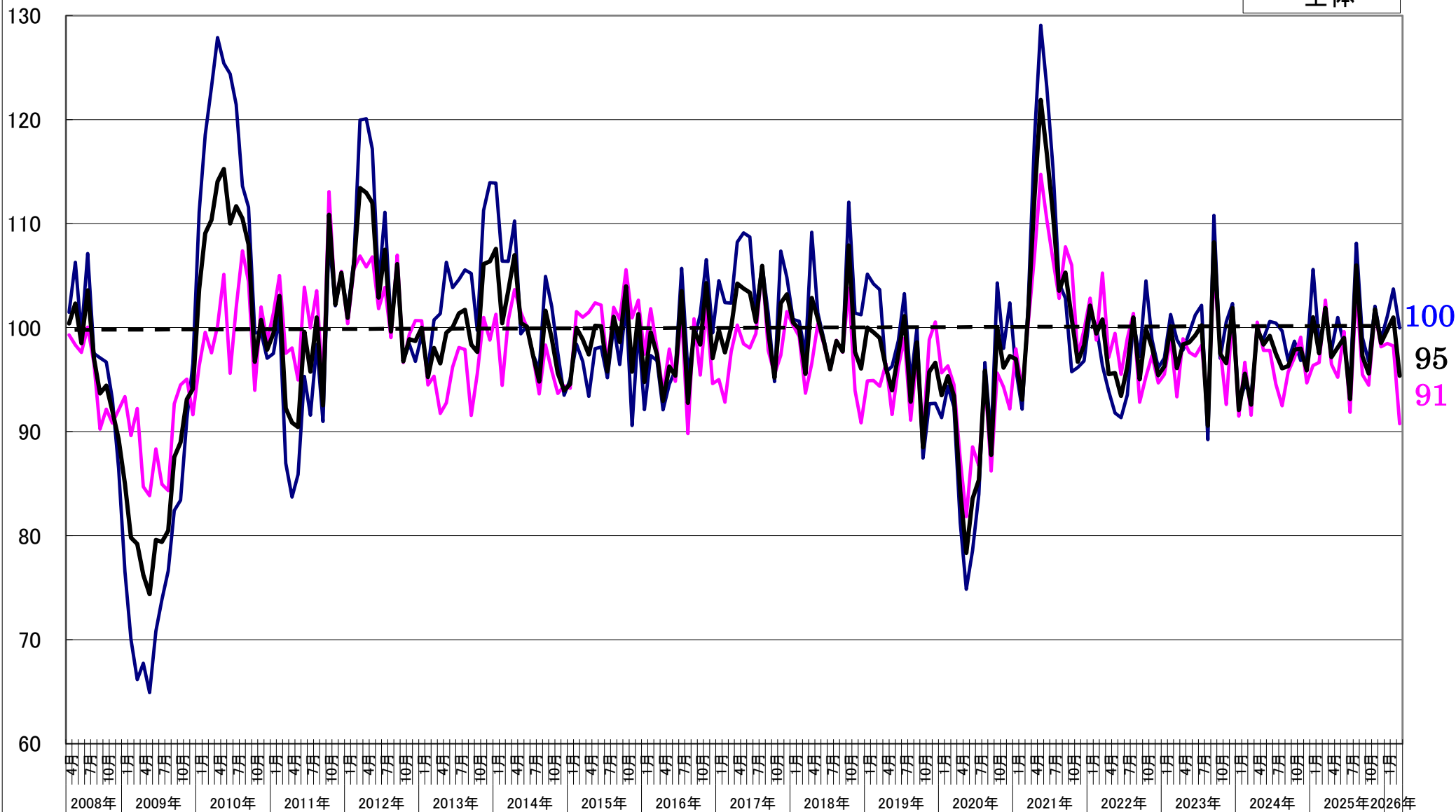
内航輸送主要元請オペ【油送船】 輸送実績の推移



比率(%)

輸送実績の推移<前年同月対比>

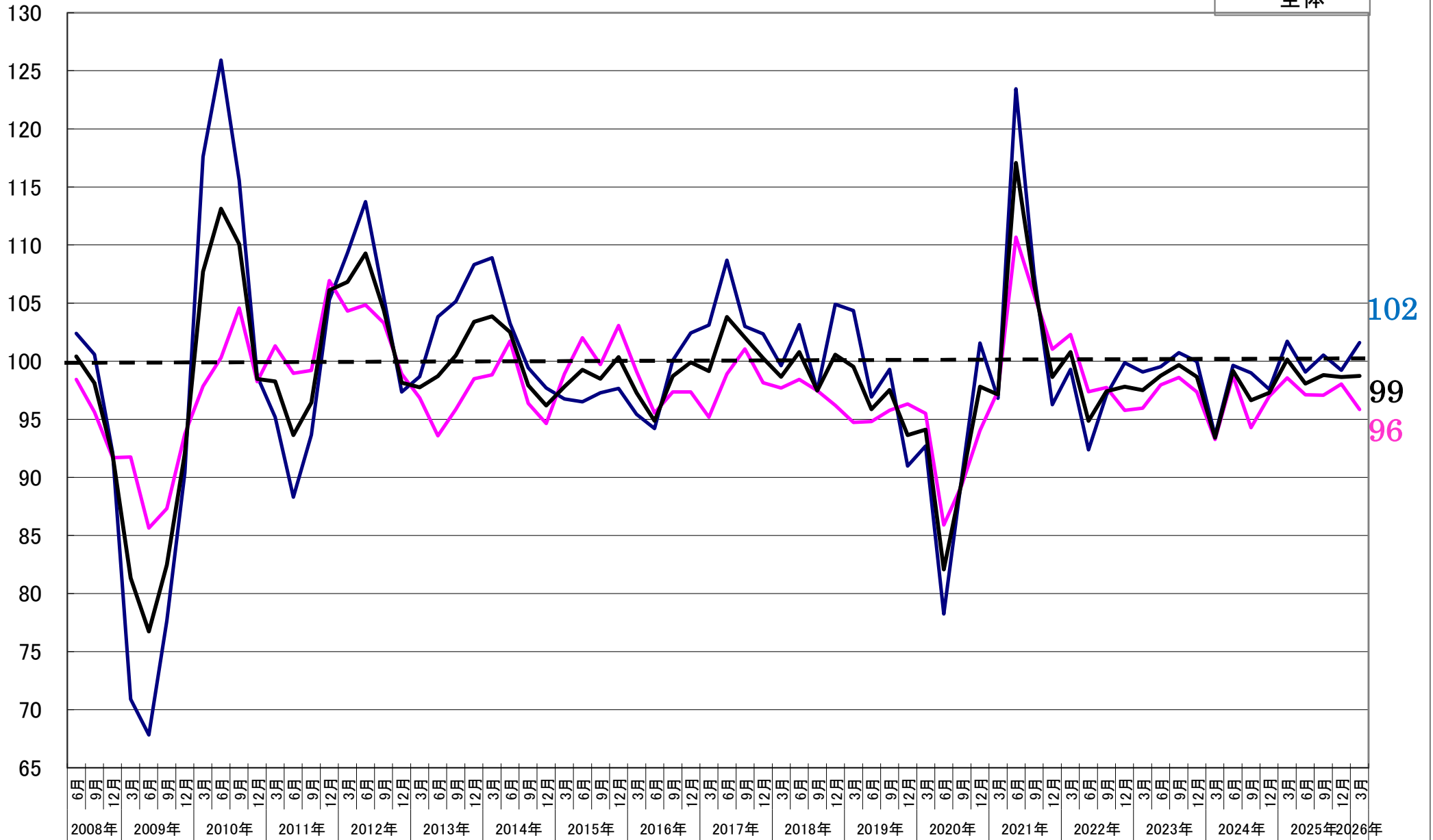
- 貨物船
- 油送船
- 全体



比率(%)

輸送実績の推移<前年同月対比>四半期

- 貨物船
- 油送船
- 全体

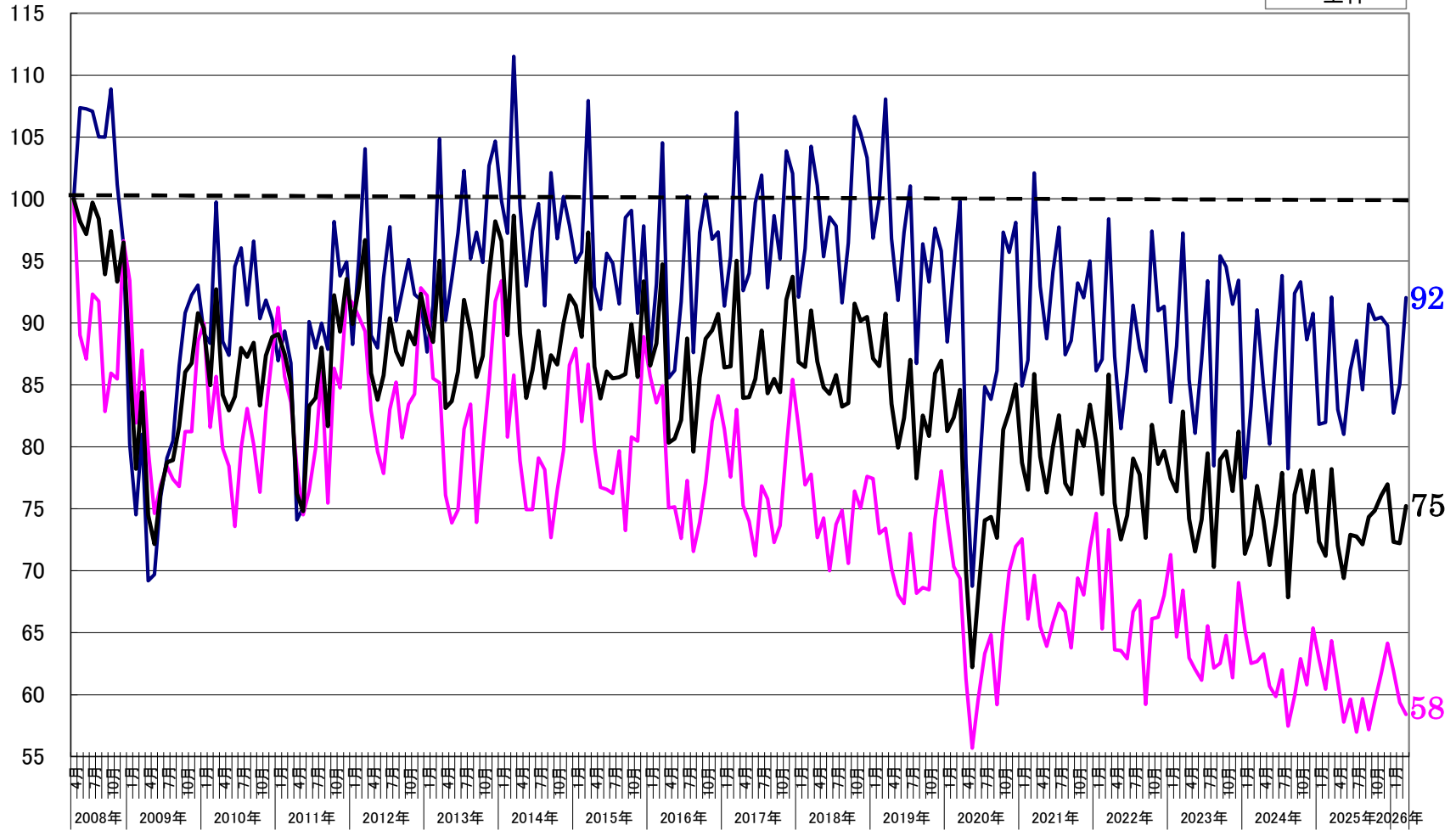


指数

2008年4月=100

輸送実績の推移<輸送量>(指数表示)

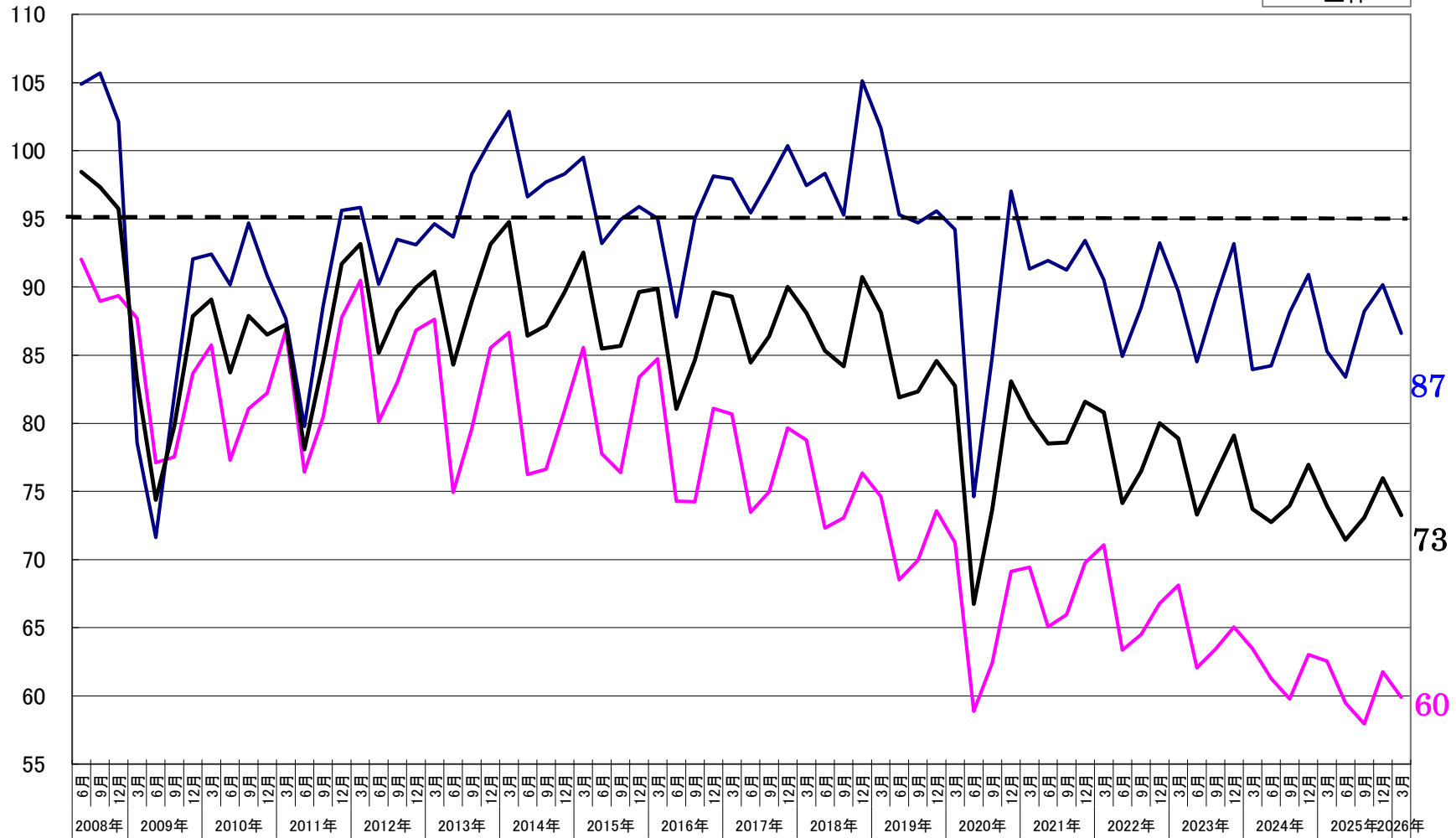
- 貨物船
- 油送船
- 全体



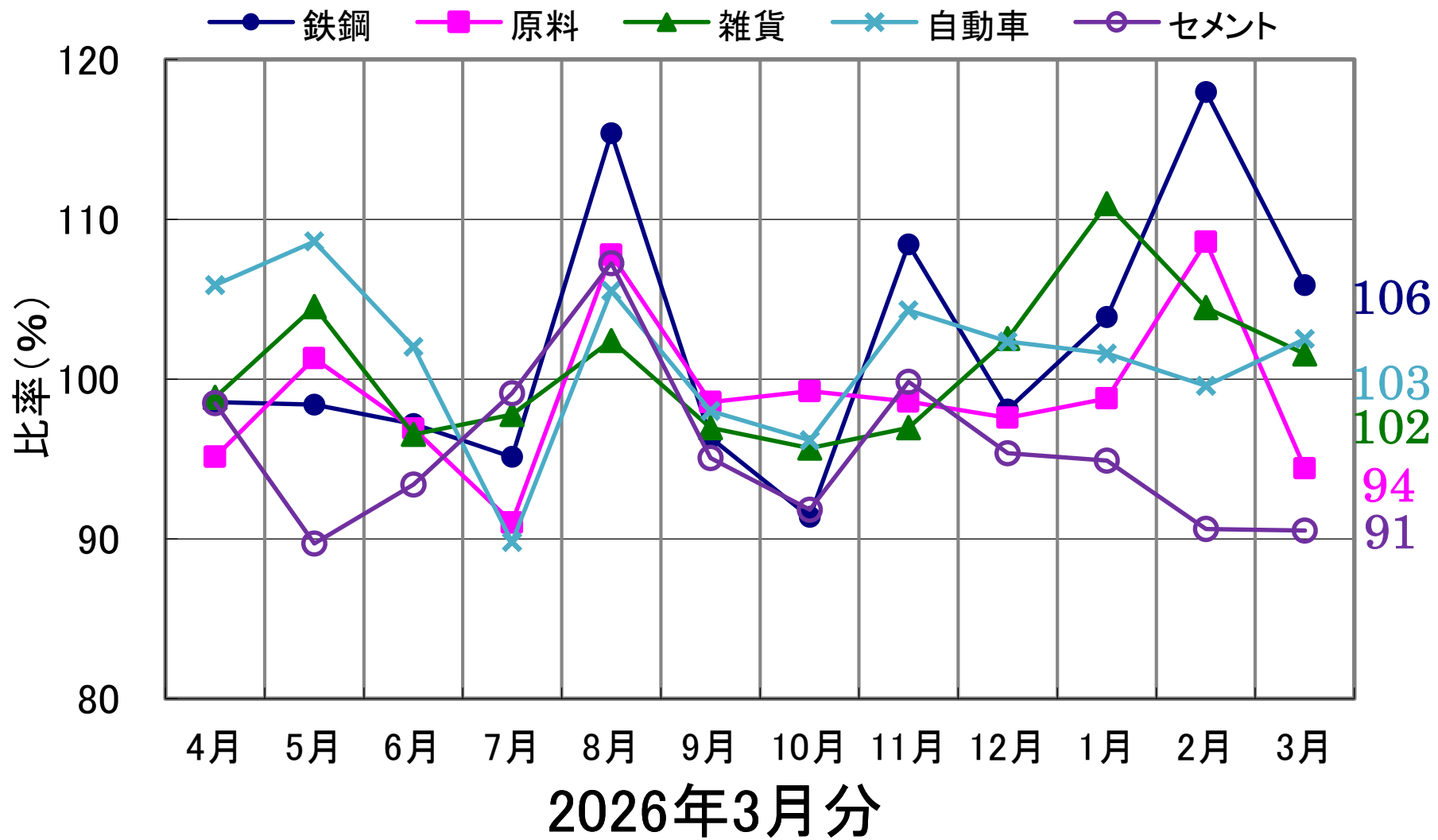
指数
2008年4月=100

輸送実績の推移<輸送量>(指数表示)四半期

- 貨物船
- 油送船
- 全体



【貨物船】 主要品目の輸送実績の推移<前年同月対比>



【油送船】 主要品目の輸送実績の推移<前年同月対比>

● 黒油 ■ 白油 ▲ ケミカル × 特タン船

